

平成30年度 地方創生(推進)交付金に係る事業実施結果 検証報告

【事業評価:選択肢】

- ① 地方創生に非常に効果的であった → 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
- ② 地方創生に相当程度効果があった → 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
- ③ 地方創生に効果があった → KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
- ④ 地方創生に地方創生に効果がなかった → KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言えないような場合
- ⑤ 地方創生に地方創生に対する効果が表面化していない → 拠点整備交付金事業で施設の供用開始から時間が経っておらず、事業効果を測るに至っていない場合

NO.	対象事業名	指標	事業実施目標(上段)・成果(下段)												達成判別	事業評価					
			事業開始前 平成27年度	増額分	平成28年度 2016年	増額分	平成29年度 2017年	増額分	平成30年度 2018年	増額分	令和元年度 2019年	増額分	令和2年度 2020年	KPI 増加分 累計							
1	水郷筑波・サイクリングまちづくりプロジェクト事業 [広域連携] 茨城県・8市1町(土浦市,石岡市,鹿嶋市,潮来市,稲敷市,かすみがうら市,桜川市,行方市,阿見町)	KPI 設定項目 ①																			
		・KPI ① つくば霞ヶ浦りんりんロード自転車利用者数 目標(人)(増額分)	39,000	6,400	45,400	6,400	51,800	17,347	69,147	15,427	84,574	15,426	100,000	61,000							
		・KPI ① つくば霞ヶ浦りんりんロード自転車利用者数 実績(人)(増額分)	39,000	8,460	47,460	7,540	55,000	26,000	81,000					42,000					○	①	
		KPI設定理由	つくば霞ヶ浦りんりんロード自転車利用者数は、経年で数値を把握でき、当地域を訪れてサイクリングを行う人数の増加が地域での消費拡大による当地域の創生に至る第一のポイントであり、県まち・ひと・しごと創生総合戦略においても、つくばりんりんロード及び霞ヶ浦周辺の自転車利用者数を数値目標としている。																		
		KPI 設定項目 ②																			
		・KPI ②乗り捨て型広域レンタル利用者数 目標(人)(増額分)	155.0	645.0	800.0	800.0	1,600.0	3,200.0	4,800.0	1,400.0	5,200.0	2,300.0	7,500.0	8,345.0							
		・KPI ②乗り捨て型広域レンタル利用者数 実績(人)(増額分)	155.0	589.0	744.0	899.0	1,643.0	4,349.0	5,992.0					5,837.0					○	①	
		KPI設定理由	サイクル初心者や観光での訪問者を大きなターゲットとしており、広域連レンタルサイクルは、まさにこうした方々が利用するものであることから、広域レンタサイクル利用者数を把握することで、ターゲットとする利用者が当地域をどの程度訪れているかを把握することが出来る。																		
		KPI 設定項目 ③																			
		KPI ③つくば霞ヶ浦りんりんロード自転車利用者消費金額 目標(千円)(増額分)	31,200.0	18,740.0	49,940.0	22,580.0	72,520.0	65,774.0	138,294.0	115,428.0	253,722.0	46,278.0	300,000.0	268,800.0							
		KPI ③つくば霞ヶ浦りんりんロード自転車利用者消費金額 実績(千円)(増額分)	31,200.0	30,498.0	61,698.0	12,707.0	74,405.0	120,820.0	195,225.0					164,025.0					○	①	
		KPI設定理由	サイクリングでの来訪者の当地域での消費金額が増加し、地域が潤うことが重要になることから、りんりんロード自転車利用者の消費金額を把握することで、どの程度地域経済に影響があるかを把握することが出来る。																		
KPI 設定項目 ④																					
・KPI ④拠点施設発着の乗り捨て型広域レンタサイクル利用者数(人) 目標(増額分)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,400.0	2,400.0	800.0	3,200.0	800.0	4,000.0	4,000.0									
・KPI ④拠点施設発着の乗り捨て型広域レンタサイクル利用者数(人) 実績(増額分)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3,579.0	3,579.0					3,579.0					○	①			
KPI設定理由	県北・県央エリアに新たに設定したモデルコースの自転車利用者数は、経年で数値を把握でき、当地域を訪れてサイクリングを行う人数の増加が、地域での消費拡大による当地域の創生に至る第一のポイントであるため。																				
2	鹿行広域DMOプロジェクト事業 [広域連携] 5市(鹿嶋市,神栖市,潮来市,行方市,銚田市)	KPI 設定項目 ①			事業開始前 平成28年度	増額分	平成29年度 2017年	増額分	平成30年度 2018年	増額分	令和元年度 2019年	増額分	令和2年度 2020年	増額分	令和3年度 2021年	KPI 増加分 累計	達成判別	事業評価			
		・KPI ① 観光入込客数 目標(人)(増額分)			2,599,727	50,000	3,099,727	100,000	3,199,727	150,000	3,349,727	150,000	3,499,727	150,000	3,649,727	600,000					
		・KPI ① 観光入込客数 実績(人)(増額分)			2,599,727	-140,612	2,459,115	116,448	2,575,563							-24,164		○	②		
		KPI設定理由	随時把握可能な数字であり、数年に渡って比較が可能。直接的にDMOの効果を計測することが出来る。事業展開の核となるものが、アントラーズホームタウンDMOの設立による、鹿島アントラーズと連携した「スポーツ合宿」を柱としたスポーツツーリズムブランドや農業が盛んな当地域の強みを生かしたアグリツーリズムブランドの創出であるため、それを評価できる指標が必要であると考えたため。																		
		KPI 設定項目 ②			事業開始前 平成28年度	増額分	平成29年度 2017年	増額分	平成30年度 2018年	増額分	令和元年度 2019年	増額分	令和2年度 2020年	増額分	令和3年度 2021年	KPI 増加分 累計	達成判別	事業評価			
		・KPI ② スポーツ合宿参加者数 目標(人)(増額分)			300,000	0	300,000	4,000	340,000	8,000	420,000	10,000	430,000	10,000	440,000	32,000					
		・KPI ② スポーツ合宿参加者数 実績(人)(増額分)			300,000	0	300,000	1,833	301,833							1,833		○	②		
		KPI設定理由	KPI①同様																		
		KPI 設定項目 ③			事業開始前 平成28年度	増額分	平成29年度 2017年	増額分	平成30年度 2018年	増額分	令和元年度 2019年	増額分	令和2年度 2020年	増額分	令和3年度 2021年	KPI 増加分 累計	達成判別	事業評価			
		KPI ③ スポーツ合宿を目的とした訪日外国人数 目標(人)(増額分)			0.0	0.0	0.0	250.0	250.0	800.0	1050.0	800.0	1,850.0	1,200.0	3,050.0	3,050					
		KPI ③ スポーツ合宿を目的とした訪日外国人数 実績(人)(増額分)			0.0	0.0	0.0	1,596.0	1596.0							1,596		○	②		
		KPI設定理由	KPI①同様																		
KPI 設定項目 ④			事業開始前 平成28年度	増額分	平成29年度 2017年	増額分	平成30年度 2018年	増額分	令和元年度 2019年	増額分	令和2年度 2020年	増額分	令和3年度 2021年	KPI 増加分 累計	達成判別	事業評価					
・KPI ④スポーツイベント及び農業体験後の農家民泊(民泊を含む)売上(円) 目標(増額分)			0	0	0	495,000	495,000	3,000,000	3,495,000	10,000,000	13,495,000	10,000,000	23,495,000	23,495,000							
・KPI ④スポーツイベント及び農業体験後の農家民泊(民泊を含む)売上(円) 実績(増額分)			0	0	0	3,135,250	3,135,250							3,135,250		○	②				
KPI設定理由	KPI①同様																				

【事業評価:選択肢】

- ① 地方創生に非常に効果的であった → 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
- ② 地方創生に相当程度効果があった → 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
- ③ 地方創生に効果があった → KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
- ④ 地方創生に地方創生に効果がなかった → KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言い難いような場合
- ⑤ 地方創生に地方創生に対する効果が表面化していない → 拠点整備交付金事業で施設の供用開始から時間が経っており、事業効果を測るに至っていない場合

NO.	対象事業名	指標	事業実施目標(上段)・成果(下段)											達成判別	事業評価			
			事業開始前 平成29年度	増額分	平成30年度 2018年	増額分	令和元年度 2019年	増額分	令和2年度 2020年	KPI 増加分 累計								
3	筑波・霞ヶ浦広域エリア観光連携促進事業 [広域連携] 茨城県・6市(石岡市,潮来市,筑西市,かすみがうら市,桜川市)	KPI 設定項目 ①																
		・KPI ① 筑波山・霞ヶ浦に隣接する12市町村の観光入込客数(万人) 目標(増額分)	1,710	58	1,768	60	1,828	62	1,890	180	○	③						
		・KPI ① 筑波山・霞ヶ浦に隣接する13市町村の観光入込客数(万人) 実績(増額分)	1,710	27	1,737					27								
		KPI設定理由	該当12市町村(土浦市、石岡市、つくば市、潮来市、筑西市、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、行方市、小美玉市、美浦村、阿見町)の観光入込客数を県全体の観光入込客数より高く伸ばす目標とする。 測定方法:観光庁「観光入込客数統計に関する共通基準」に基づく茨城県観光客動態調査法															
		KPI 設定項目 ②																
・KPI ② 筑波山・霞ヶ浦に隣接する12市町村の観光消費額 目標(億円)(増額分)	760	30	790	31	821	31	852	92	○	③								
・KPI ② 筑波山・霞ヶ浦に隣接する13市町村の観光消費額 実績(億円)(増額分)	760	-21	739					-21										
KPI設定理由	KPI①同様																	
4	第2のふるさと・いばらきプロジェクト推進事業 [広域連携] 茨城県・20市6町(日立市,土浦市,石岡市,結城市,常総市,高萩市,北茨城市,笠間市,牛久市,鹿嶋市,潮来市,常陸大宮市,那珂市,筑西市,坂東市,かすみがうら市,神栖市,行方市,銚田市,つくばみらい市,茨城町,城里町,大子町,八千代町,埴町,利根町)	KPI 設定項目 ①	事業開始前 平成27年度	増額分	平成28年度 2016年	増額分	平成29年度 2017年	増額分	平成30年度 2018年	KPI 増加分 累計								
		・KPI ① ふるさと県民登録者数 目標(人)(増額分)	2,126	1,374	3,500	500	4,000	1,000	5,000	2,874	○	②						
		・KPI ① ふるさと県民登録者数 実績(人)(増額分)	2,126	1,429	3,555	843	4,398	322	4,720	2,594								
		KPI設定理由	県に愛着を持つてくれた方(潜在的移住希望者)の人数でもある事から、事業実施期間を通じた移住及び交流人口の増加のために講じる施策の成果であるため。															
		KPI 設定項目 ②	事業開始前 平成27年度	増額分	平成28年度 2016年	増額分	平成29年度 2017年	増額分	平成30年度 2018年	KPI 増加分 累計								
		・KPI ② 移住受入体制の構築に取組む市町村 目標(市町村)(増額分)	25	0	25	4	29	7	36	11	○	②						
		・KPI ② 移住受入体制の構築に取組む市町村 実績(市町村)(増額分)	25	5	30	5	35	1	36	11								
		KPI設定理由	市町村による取り組みを広げることが、全县を挙げての移住推進体制の構築に繋がり、本事業による移住推進体制の構築の評価となるため。															
KPI 設定項目 ③	事業開始前 平成27年度	増額分	平成28年度 2016年	増額分	平成29年度 2017年	増額分	平成30年度 2018年	KPI 増加分 累計										
KPI ③ トライアル移住(社員移住)実施企業数 目標(社)(増額分)	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	5.0	15.0	15	○	②								
KPI ③ トライアル移住(社員移住)実施企業数 実績(社)(増額分)	0.0	0.0	0.0	9.0	9.0	6.0	15.0	15										
KPI設定理由	茨城県と民間企業がタイアップして社員移住を実現することによって、同様に働き方改革等を進めようとする東京圏の企業に対し、近くて住みやすい本県の魅力をアピールするとともに、新たな人の流れを生み出すことができる。																	
5	水郷潮来プライド米プロジェクト事業 [潮来市のみ] (令和元年度からは、農と観のあるまち。水郷潮来 MYSTERYプロジェクトとして令和3年まで実施)	KPI 設定項目 ①	事業開始前 平成27年度	増額分	平成28年度 2016年	増額分	平成29年度 2017年	増額分	平成30年度 2018年	KPI 増加分 累計								
		KPI ① 米粉用米 作付面積 目標(ha)(増額分)	0	0	0	1.5	1.5	1.5	3.0	3.0	△	②						
		KPI ① 米粉用米 作付面積 実績(ha)(増額分)	0	0	0	0.5	0.5	0.0	0.5	0.5								
		KPI設定理由	米粉用米への作物転換を促すために農業者へ生産拡大を図るためには、周知の時間を要する。 平成28年度の潮来市における生産調整による作付面積は、加工米用が160ヘクタールであるが、このうちの一部を米粉用米へ転換し、生産拡大を促していく。															
		KPI 設定項目 ②	事業開始前 平成27年度	増額分	平成28年度 2016年	増額分	平成29年度 2017年	増額分	平成30年度 2018年	KPI 増加分 累計								
		・KPI ② 道の駅いたこ 来場者数目標(人)(増額分)	546,271	3,729	550,000	5,000	555,000	6,000	561,000	14,729	○	②						
		・KPI ② 道の駅いたこ 来場者数実績(人)(増額分)	546,271	-25,709	520,562	55,758	576,320	6,029	582,349	36,078								
		KPI設定理由	道の駅いたこを起点として、新商品の開発、情報発信及び販売を実施していくので、道の駅の来場者数の増加は、米麴の製造、販売の増に大きく寄与し、その後、展開を予定している市内外のスーパー、国内アジア料理店などへの販路開拓にも大きく影響する。 ・H29.4 道の駅いたこ リニューアルオープン 野菜売り場が新築され、売り場面積が360㎡に。地元の新鮮野菜を中心とした農産物や加工品の販売強化。															
KPI 設定項目 ③	事業開始前 平成27年度	増額分	平成28年度 2016年	増額分	平成29年度 2017年	増額分	平成30年度 2018年	KPI 増加分 累計										
・KPI ③ 6次産業化 米粉商品売上(円) 目標(増額分)	515,000	1,485,000	2,000,000	500,000	2,500,000	2,485,000	4,985,000	4,470,000	○	②								
・KPI ③ 6次産業化 米粉商品売上(円) 実績(増加分)	515,000	789,600	2,879,000	754,150	3,633,150	2,933,705	6,566,855	4,477,455										
KPI設定理由	新商品への取組み、産業の構築を図るうえで、期間を要するため、複数年度にわたり計測する。 米粉商品の売り上げは、米粉及び米麴の製造量に伴うものであり、将来的には農業者の所得の向上に貢献するものである。 ・H27 地方創生先行交付金事業で特産品の開発を行い、米粉カステラを商品化 ・H28・H29・H30 推進交付金事業 6次産業化に深化させるため、米から米粉を作り、商品化、さらに米の麴(生麴のフォー)を生産するといった米麴の開発・製造・販売																	

【事業評価:選択肢】

- ① 地方創生に非常に効果的であった → 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
- ② 地方創生に相当程度効果があった → 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
- ③ 地方創生に効果があった → KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
- ④ 地方創生に地方創生に効果がなかった → KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言えないような場合
- ⑤ 地方創生に地方創生に対する効果が表面化していない → 拠点整備交付金事業で施設の供用開始から時間が経っておらず、事業効果を測るに至っていない場合

平成30年度 地方創生(拠点整備)交付金に係る事業実施結果 検証報告

NO.	対象事業名	指標	事業実施目標・実績													達成判別	事業評価	
			事業開始前 平成29年度	増額分	平成30年度 2018年	増額分	令和元年度 2019年	増額分	令和2年度 2020年	増額分	令和3年度 2021年	増額分	令和4年度 2022年	KPI 増加分 累計				
6	水の郷 石の蔵リノベーションプロジェクト [潮来市のみ]	KPI 設定項目 ①																
		KPI ① カフェ・水郷マルシェ等収益 目標(千円)(増額分)	0	0	0	5,600	5,600	2,900	8,500	1,000	9,500	1,300	10,800	10,800	-	⑤		
		KPI ① カフェ・水郷マルシェ等収益 実績(千円)(増額分)	0	0	0									0				
		KPI設定理由	地域産業の各種中小企業者において、地場産業による元気な市場の開催や水郷マルシェなどの収益の向上で、コミュニティ・ビジネスとして地域産業の生産向上となる事業である。周辺に同様なカフェのような飲食施設・物産販売等の類似施設が無い場合、情報発信を継続して行い、その事業効果を継続して測定して検証する必要がある。歴史ある潮来の観光客の多くは高齢化しているが、新たなカフェや水辺空間づくりにより、日本らしさにはインバウンド、嫁入り・ウエディングなどには若年層と一気に観光客の年齢幅が広がる。															
		KPI 設定項目 ②																
		・KPI ② 津軽河岸跡周辺雇用・出店者就業人数 目標(人)(増額分)	0	0	0	33.0	33.0	37.0	70.0	12.0	82.0	20.0	102.0	102.0	-	⑤		
		・KPI ② 津軽河岸跡周辺雇用・出店者就業人数 実績(人)(増額分)	0	0	0									0.0				
KPI設定理由	KPI①同様																	